

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 28号

2012/12/10 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：この数週間はLDN £1550~1600 レンジを行ったり来たり。。

①週最高：LDN 市場 £1,591 / NY 市場 \$2,519 (共に 12月3日) 先週比 LDN+ £5 / NY+\$21
②週最低：LDN 市場 £1,540 / NY 市場 \$2,412 (LDN：12/5、NY：12/7) 先週比 L- £20 / N-\$35
週内差額 (①-②)：LDN 市場 £51 / NY 市場 \$107

【12月3日(月)】 LDN NY 両市場とも続伸=産業筋の買いで
両市場とも続伸。

ニューヨーク市場の3月きりは21ドル(0.8%)高の**2519ドル**で終了。一時2555ドルと、2番きりとして9月28日以来の高値まで上昇した。

産業筋の買いやポンドの対ドル相場が上昇したことに支援された。一方、産地筋の売りが出たことで上げ幅は抑制された。

RJOフューチャーズの上級市場ストラテジスト、ヘクター・ガルバン氏は「産業筋はきょうのような水準でもココアに買いを入れていると聞いており、さらに相場が上昇するという印象だ」と述べた。ロンドン市場の3月きりは5ポンド(0.3%)高の**1591ポンド**で引けた。

【12月4日(火)】 LDN、NY 両市場とも反落=利食い売りで3%安
両市場とも反落した。

ニューヨーク市場の3月きりは75ドル(3.0%)安の2444ドルで終了。100日移動平均の2450ドルを割り込んだ後、下げ幅を広げた。ディーラーらによると、利食い売りがみられたという。ロンドン市場の3月きりは43ポンド(2.7%)安の1548ポンドと、2番きりとしては11月12日以来の安値で引けた。200日移動平均の1538ポンドをかろうじて上回った。

【12月5日(水)】 LDN、NY 両市場続落=コートジボワールの供給不足を懸念

ココア両市場は続落。コートジボワールでのカカオ豆着荷量が予想よりも少ないことから、収穫予想が過大に見積もられていたとの懸念が強まっているという。ロンドン拠点のブローカーは「コートジボワールの収穫量をめぐっては、議論が噴出している」と語った。

ロンドン市場の3月きりは、8ポンド（0.5%）安の**1540ポンド**と続落して終了。

市場では、2012～13年度の世界のカカオ豆需給動向が注目されている。商品商社オラム・インターナショナルは15万トンの不足と予想。一方、穀物商社大手カーギルは、需給は均衡に近いとみている。

先のブローカーは「コートジボワールの収穫量が予想よりやや少ないとしても、需給は均衡するだろう」と語った。

ニューヨーク市場の3月きりも、24ドル（1%）安の**2420ドル**と続落して引けた。

【12月6日（木）】ロンドン市場は反発＝ニューヨークは変わらず

ロンドン市場はポンド安が下支えとなり反発、3月きりは7ポンド（0.5%）高の**1547ポンド**で引けた。ディーラーによると、認証在庫が歴史的な低水準となる中で、取引所での検査で不合格となる豆の比率が高まっていることも、相場には支援要因となったと指摘した。一方、ニューヨーク市場の3月きりは**2420ドル**と変わらずで終了した。取引時間の大半は対ポンドでのドル高が圧迫要因となったものの、引けにかけて値を戻した。

【12月7日（金）】LDN、NY両市場とも下落

両市場とも下落。ロンドン市場の3月きりは1ポンド安の**1546ポンド**で終了。12月きりの未決済約定は、納会を数日後に控える中、認証在庫を大きく上回っている。

ニューヨーク市場の3月きりは8ドル（0.3%）安の**2412ドル**で引けた。

2、コートジボワールのカカオ豆産地、雨期長引く＝農家は歓迎（12/4）

コートジボワールの農家らが3日明らかにしたところによると、同国カカオ豆主産地の大半では、先週も降雨が続き、雨期が長引いている。農家は降雨を歓迎しており、進行中の収穫作業は年明けも続く見通しだ。

コートジボワールの乾燥シーズンは、通常11月半ばから3月。10月に降り始めた大雨は弱まり始めたが、先週も大半の産地でかなりの雨が降った。

あるアナリストによると、カカオ豆主産地のソブレでは、晴れ間もあったが38ミリの雨が降ったと報告されている。前週の雨量は31ミリだった。また、アボワソでも、降雨続きの天候で、カカオ豆の生育が促された。

3、ココアバターはコートジの補助金廃止の影響を受けて、3年ぶりの高値更新中(12/6)

- ・ココアバターレシオは2009年の初旬以来の高値となる1.90まで上昇
- ・コートジのカカオ豆磨砕業者への補助金廃止によるココアバターの供給減少の懸念
- ・ココアパウダーの価格は下落

ココアバターの価格を決するレシオは年末の需要増とコートジ政府のカカオ豆磨業者への補助金廃止よりココアバターの製造数量減少が懸念されていることを背景に2009年の初旬依頼の高水準となっていると、シンガポールのトレーダー筋が語った。

今週、ココアバターは先週の1.85レシオから更に上昇し、欧州やアジアのバイヤー向けに1.90レシオに

て取引された。

『需要は、全ての市場から来ている、しかし、製造者の方からも多くは価格オファーが出てこない。なぜなら毎週価格が上昇している為、磨砕業者は更に高値での販売を期待しているためだ』トレーダーは言う。

コートジ政府は 20 年間継続していた国内磨砕業者むけの補助金を今シーズンから廃止した。この補助金は輸出税の軽減を意味するものであった為、今後は、同国への工場投資を減少させると考えられている。

この変更の一方で、コートジ政府は 2015 年までに同国のカカオ豆の収穫数量の半分を国内加工にすることを目指している。現在の国内での磨砕数量は収穫数量全体の約 35%である。

『主な問題は、コートジでの補助金の変更だ。業界では皆、磨砕工場は操業を停止するか、製造数量を調整するだろうと考えている。彼等は長い間政府から補助金を得てきたが、それが突然に打ち切られてしまった』マレーシアのトレーダーは言う。

『コートジでの磨砕工場の操業はもはや難しい状況であろう、人々は混乱している。一方で日本、韓国、欧州からもバイヤーはココアバターを買付けの希望を出してきている』

2010年にコートジは主にココアバターとココアパウダーの生産を行う磨砕工場の国全体の製造可能規模が53万2千トンに達して、カカオ豆の生産数量だけでなく、磨砕・加工においても世界第1位となった。

欧州市場では11月、12月受け渡しのココアバターのレシオはロンドン市場価格に対して2.08レシオ。アジア市場でもココアバターのレシオは今年1年間で90%も上昇しており、ロンドン市場価格に対して2.0レシオ付近の取引となっていた2009年の初旬以来の高水準に達している。

カカオ豆は加工すると、ほぼ均等な比率でココアバターと、ココアパウダーに製造される為、この2つの価格は通常反対の方向に動く。高いココアバターのレシオになっている分、ココアパウダーの価格は下がってきており、今週は\$3000~3300/トンでオファーされ、2週間前の\$3300~3400/トンより更に下落した。

『取引自体は勿論多少はあるが、ココアパウダーはあまり引き合いがなく、動きがない状態』シンガポールのトレーダーは説明した。

4、コートジの10月度カカオ豆輸出数量、前年対比39%アップ(12/6)

コートジからの2012年10月のカカオ豆輸出数量は前年対比39%増となる46,893トンとなったことが判明した。10月は2012/2013シーズンの最初の販売開始月で、今シーズンは生産者への最低買い取り価格を保証することを目指した多方面にわたるカカオ産業界の改革がおこなわれている。

下記は、同国の主要な輸出港である。アビジャンとサンペドロ港からのカカオ豆の輸出数量の内訳。

	<u>Oct 2012</u>	<u>Sept 2012</u>	<u>Oct 2011</u>	*単位：トン
Abidjan 港	12,223	12,052	14,910	
San Pedro 港	34,670	24,875	18,823	
月間合計	46,893	36,927	33,733	
年間合計（10月～）	46,893	1,008,112	33,733	

5、コートジから 10 月度カカオ加工製品輸出、前年対比 27%減少 (12/6)

コートジからの 2012 年カカオ加工製品（ココアバター、ココアパウダー等）の輸出は前年対比 27%減となる 20,272 トンとなったことが判明した。10 月度は 2012/2013 シーズンの最初の月にあたる。コートジでは 2008 年からのカカオ工場への投資により同国の磨砕・加工の可能数量を大きく拡大させ、現在では以前は世界 1 位であったオランダのキャパシティを超え、現在 53 万 2 千トンの規模となっている。下記は主要な港からのカカオ加工品の輸出数量統計

	Oct 2012	Sept 2012	Oct 2011	単位：トン
Abidjan 港	11,530	19,268	18,542	
San Pedro 港	8,742	6,041	9,080	
月間合計	20,272	25,309	27,622	
年間合計(10月～)	20,272	332,370	27,622	

6、インドネシア、ランブン州からの 11 月カカオ豆輸出前年対比 68%ダウン(12/4)

*ランブン州（Lam Pung 州）スマトラ島の南端の州で下記の赤マルの部分。

インドネシアのカカオ豆輸出において、数量は多くはないが、良く発酵がされた高品質のカカオ豆が輸出されると評価されている。輸出港は P A N J A N G 港



インドネシアのスマトラ島のランブン州からの 11 月のカカオ豆の輸出数量が 1,270 トンとなり、前年対比で 68%のダウンとなった。インドネシアは昨年例年のない酷い多雨に見舞われ、\$350 百万（=約 290 億円）をかけたカカオ豆の増産プログラムに悪影響を及ぼしている。

2012 年

月	輸出数量(トン)	前年対比(%)
November	1,270.00	-68
October	4,493.26	+468.8
September	711.2	-21
August	558.76	-75
July	3,174.8	+18.7
June	889	-83.2
May	2,540	-27
April	762	+20
March	1,300	-76
February	691.9	-74
January	2,514.6	+52

2011 年

December	1,725	+25
November	4,000	+31
October	790	-85
September	900	+350
August	2,200	-51
July	2,675	-14
June	5,291	-30
May	3,502.5	-62
April	637.5	-69
March	5,375	+16
February	2,675	-37
January	1,650	-70

参考記事：[急成長のガーナでの大統領選挙](#)

出典：NHK WEBニュース <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20121208/k10014050861000.html>

急速な経済成長が続き、アフリカの民主国家のモデルとされる西アフリカのガーナで、7日、大統領選挙が行われ、経済成長の影で広がりつつある貧富の差の解消などを争点に国民が一票を投じました。

西アフリカのガーナでは、選挙によって政権交代が2度にわたって実現するなど、民主化が進む一方、おとし始まった石油生産をてこに急速な経済成長が続いており、独裁政権や紛争が絶えないアフリカで民主国家のモデルとされています。

今回の大統領選挙には、8人が立候補していますが、さらなる経済成長の実現を訴える現職のマハマ大統領と、成長の影で広がりつつある貧富の格差の解消を掲げる最大野党のアクフォアッド候補の事実上、2人の対決となっています。大統領選挙の投票は、7日、全土で行われ、首都アクラの投票所には朝から大勢の人が長い列を作り、投票用紙の候補者の欄に印をつけて投票していました。

投票を済ませた有権者からは「新しいリーダーには経済をさらに発展させてほしい」とか、「教育への支援を拡充してほしい」といった声が聞かれました。

開票結果は、来週はじめにも発表され、得票が過半数を越える候補者がいない場合は、今月28日に上位の2人による決選投票が行われる予定です

現地の投票風景（12月7日）

《投票所の風景》



《投票の方法を説明する案内書》



《投票が集まった投票箱》



《投票箇所》



《投票者を指紋認証で確認》

《投票を待つ人々》



《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp